

2学年だより

令和7年8月6日
夏休み 臨時号

新潟県立吉田高等学校

戦争と平和について考える ～ 7月16日 平和学習講演会より ～

写真は先月、吉田高校に来てくれた「被爆ピアノ」です。1945年8月6日に広島で被爆したこのピアノは、広島在住のピアノ調律師である矢川光則さんが修復しました。現在は矢川さんとともに日本各地をまわって平和を願う優しい音色を私たちに届けてくれています。

本校では、先月16日に平和学習講演会として、矢川さんの講演とピアノコンサートを行いました。2年生は今年の修学旅行で広島を訪れます。過去の戦争を学び、平和について考える貴重な機会となりました。



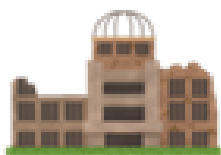
<生徒の感想より>

ドンピシャスの歌声がとても心に響いたのと、ピカドンピアノ（原爆ピアノ）の音色もとても響いた。コンサートが終わった後に、原爆ピアノを間近で見せてもらったが、やはり、修繕したとはいえ、当時の傷跡のようなものが残っていたのでそれが印象に残った。

歴史の授業で戦争や平和についてある程度学んだのですが、今回の講演会にてやはり今、私達が学校に行って勉強するのは当たり前と考えてはいけないと思うし、原爆の被爆した場所は永遠に忘れることはないと考えました。現在でも戦争は起きているところがありますが、戦うのではなく話し合って解決するのが一番平和的だと思います。もう二度と原爆を使うことの無い世の中にするために色々な人に戦争のことを話すことが大事だと思いました。

私は、誰かと競ったりするのではなく、お互いに協力する事が平和に繋がると思いました。一番になりたいという気持ちや、自分の利益になることを考えるのはいいと思うけど、それによって、出る犠牲を軽くみたりすることは良くないことだし、自分には関係ないと無関心になって後々後悔しても遅いので、後悔する前に一人一人が平和を心に刻んでおくとかまた違うのかなと思いました。自分達が今できることは、選挙に行ったり、たくさんの人を巻き込んでも、悪いことは悪い、と行動したりするのがいいと思いました。

平和とは常にあるものではなく皆が協力することで創り上げることができるものだと考えました。誰かが今の平和な状態を崩すようなことをすれば、皆が不幸になってしまうので、そのようなことは絶対にしてはならないと思いました。平和を実現するために私は、自分と違うところがあっても否定せずに、認めていくことをしようと思いました。また、原子爆弾の恐ろしさも伝えて行こうと思いました。これは唯一の被爆国に住んでいる私たちにしかできないことだと知ったからです。



平和講演会において全校生徒で
千羽鶴を折りました。
2年生も心を込めて折りました。



戦後80年の今年の夏。戦争を知り、平和な世界のために自分は何ができるかを考えていきましょう。